

社福第南苑～号
令和2年6月25日

保護者各位

社会福祉法人 南幌苑
障がい者支援施設 南幌めぐみ学園
理事長 栗 林 和 史
(公印省略)

新型コロナウイルス感染防止対策に係る取り組みについて

平素は、当法人の運営に際しまして、ご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。また、当学園の新型コロナウイルス感染防止対策にご協力をいただいておりますことに改めて感謝を申し上げます。

先日、北海道としての6月以降の段階的な緩和について指針が示され、6月18日までの札幌市と他市町村との不要不急の往来等への慎重な対応や「新しい生活様式」「新北海道スタイル」の実践による感染拡大の防止について求められ、6月19日から移動自粛緩和されましたが2週間後の状況が心配されるところです。また、近隣の岩見沢市でもクラスターが発生し、未だ検査者数が増大している状況です。

新型コロナウイルス感染の猛威は衰えておらず、常に感染の可能性があるので生活を余儀なくされているところではございますが、今後の施設としての感染防止対策の取り組みに関しても、緊張感を継続しながら、徐々に利用者の社会参加や日常の暮らしを取り戻していく段階に入ってきたと考えております。

利用者の外泊・外出についても、地域の感染状況を鑑みながら徐々に進めてまいります。ご家族様におかれましては、様々なご事情がごありのことと存じますので、ご事情や地域の感染状況等を勘案しながら慎重に対応をさせていただきたいと考えております。

詳細につきましては、別紙「利用者との面会および外泊・外出に係るお願いと留意事項について」をご覧ください。

重ね重ねお願いばかりで恐縮ですが、ご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

利用者との面会及び外泊・外出に係るお願いと留意事項について

現在、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、札幌市との往来についても慎重な対応が求められ、国・北海道から提唱されている「新しい生活様式」では接触機会の低減や行動変容が求められております。

これから、利用者のご家族様との面会および外泊、外出等を再開していくにあたり、より慎重な姿勢が必要になってくると存じます。

特段のご事情から、利用者との面会および外泊や外出について、ご検討されているご家族様もいらっしゃるかと思いますので、ご家族様のご協力をいただきながら、慎重に対応を進め、利用者および施設の感染防止に努めて参りたいと考えております。

外泊・外出については、8月から当面の間につきましては、2泊3日以内で再開を検討しておりますが、未だ札幌市や小樽市での発生状況もあり、今後の感染状況等によっては、延期になる場合もあることをご理解いただき、次の留意事項をご確認の上、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。なお、7月中旬に再度文書にてご連絡します。

1. 利用者への面会について

施設内における利用者との面会につきましては、面会に使用していただける場所をご用意いたしますので、居室等ではなく、そちらをお使ください。また、面会に来られた方の体調確認、マスク着用、検温、手指消毒の実施と短時間(30分程度)の面会をお願いいたします。

なお、面会に来られる際には事前にお知らせください。

2. ご家族様等の体調管理について

外泊・外出の実施については、ご家族様のお住まいの地域の感染状況やご家族様および同居されている方の体調、および濃厚接触にあたる方の中に体調がすぐれない方がいないかご確認ください。

3. 利用者の体調観察について

外泊・外出時については、消毒励行、マスクを着用し、1日3回の体温測定と体調等の記録をお願いします。（記入様式をお渡します）

ので、そちらにご記入ください。)

外泊・外出時については、施設と自宅との往来のみで自宅以外には行かないようにお願いします。

4. 体調不良時の対応

外泊・外出時において、万が一、利用者およびご家族様をご帰宅中に体調を崩され、新型コロナウイルスへの感染が疑われる場合には速やかに学園まで連絡をお願いします。まず保健所に連絡し、通院する場合はご家族で対応お願いします。

また、一定期間（最大2週間以上）帰園の日程を延期していただく可能性があることをご了承ください。

*なお、特別給付金10万円については、申請手続きも終了し、各利用者口座に入金となっておりますのでお知らせします。

また、6月23日に学園前庭で焼肉パーティーを開催し、天候にも恵まれた中、焼肉を食べながら元気に楽しい時間を過ごされたのでその際の写真を同封します。

「新しい生活様式」の実践例

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、**できるだけ2m（最低1m）**空ける。
 - 会話をする際は、可能な限り**真正面を避ける**。
 - 外出時や屋内でも会話をするとき、**人との間隔が十分とれない場合は、症状がなくてもマスクを**着用する。ただし、**夏場は、熱中症に十分注意**する。
 - 家に帰ったらまず**手や顔を洗う**。
人混みの多い場所に行った後は、できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
 - 手洗いは30秒程度**かけて**水と石けんで丁寧に**洗う（手指消毒薬の使用も可）。
- ※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。接触確認アプリの活用も。
- 地域の感染状況に注意する。

(2) 日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに**手洗い・手指消毒** 咳エチケットの徹底
- こまめに換気（エアコン併用で室温を28℃以下に） 身体的距離の確保
- 「**3密**」の回避（**密集、密接、密閉**）
- 一人ひとりの健康状態に応じた運動や食事、禁煙等、適切な生活習慣の理解・実行
- 毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



密集回避



密接回避



密閉回避



換気



咳エチケット



手洗い

(3) 日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

娯楽、スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは、十分に人との間隔をもしくは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

イベント等への参加

- 接触確認アプリの活用を
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

(4) 働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務 時差通勤でゆったりと オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン 対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成

ご家族からの連絡

利用者名

帰省中、日常生活での様子等や、その他連絡事項等ご記入下さい。行動メモとして、施設と自宅との往來が原則です。もし、やむを得ず外出した場合は外出先を記入して下さい。また、帰省中体調が悪くなったり、発熱がみられた場合は保健所に連絡を入れ、保健所の指示に従って家族対応にて病院等を受診するようお願い致します。

行動メモ 記入例 36.5 36.5 36.0

1日目 検温 朝 . °C 昼 . °C 夕 . °C

• 記入例 10:00～11:00に近所のスーパーへ家族3名でお菓子を買いに出掛けた。

(1日の様子)

•

•

•

2日目 検温 朝 . °C 昼 . °C 夕 . °C

(1日の様子)

•

•

•

3日目 検温 朝 . °C 昼 . °C 夕 . °C

(1日の様子)

•

•

•